

角筈地区協議会

平成26年度第5回（第114回）地域交流分科会 概要

平成26年8月6日（水）10:00～12:00

角筈特別出張所2階会議室

出席：委員8名 新宿区社会福祉協議会（オブザーバー）1名 事務局3名

1 リーダーより

リーダー欠席のため、事務局が挨拶しました。

2 事務局より

東京電力(株)新宿支社から選出されている小池委員が、人事異動により地区協議会を退任されます。後任は上田委員となります。それぞれ退任と就任の挨拶がありました。

3 その他〔委員の皆さんから〕

「わいわい地域交流！」の今後について意見がありました。議題のところで改めて議論しました。

4 各分科会の報告

(1) 生活環境分科会

下記のご案内がありました。

① 第10回「つのはず友遊カフェ」

日時：8月20日（水）午後1時30分～

場所：西新宿シニア活動館

※9月17日のカフェは落語会があります。

② 施設見学会

日時：10月9日（木）午後2時～4時

場所：善福寺川取水施設（丸の内線方南町駅）

※地域交流分科会も共催という形をとった事業です。

※詳細や参加の方法は後日お知らせします。

(2) 安全安心分科会

① 普通救命講習会の報告

日時：7月2日（水）午後1時30分～4時30分

場所：角筈地域センター8階 レクリエーションホール

参加人数：31名

※来年度も引き続き開催することを検討します。

5 議題

(1) 施設見学会について

まずは生活環境分科会の施設見学会に共催という形で行います。詳細は生活環境分科会が取り決めます。また、この分科会で今後見学したい施設や計画があがった時には地域交流分科会独自の事業として進めていきます。

(2) 地域交流勉強会・講習会（料理教室）について

開催は11月を検討しています。9月の分科会で詳細を検討します。

(3) 本日の打ち水大作戦2014について

時間：17:15～

場所：京王プラザホテル前4号街路歩道

内容：17:15 開会の挨拶・新宿CSRネットワークの紹介

17:25 打ち水開始

17:35 打ち水終了・参加団体紹介（3分×4団体）

17:50 温度測定

17:55 景品配布

18:00 終了

※午後5時に集合してください。地区協ベストを配布します。

※地区協からの景品は名入りボールペンと地区協紹介チラシです。

※他分科会からの参加がない、という意見が出ました。これについて事務局から、「『打ち水大作戦』は新宿CSRネットワークが主催する事業で、角筈地区協議会からは当分科会が参加する、ということになっています。他の分科会との交流を図る目的であれば、例えば、地域内での打ち水を当分科会が主催、計画し他分科会に呼びかけるというやり方が良いと思います」という返答がありました。

(4) 「わいわい地域交流！」34号について

34号の検討に入る前に、先に意見のあった今後の地域情報紙の方向性を話し合いました。

[委員の意見]

最近の編集動向を見ていると、今後このやり方で続けていけるのか不安になった。/いつも決まった人たちで取材など編集作業をしている。一人でも欠けるとできなくなるのではないか。/以前はやっていて楽しかったし苦ではなかった。最近では編集にあたって積極的に動けなくなった。/30号以上も発行すると内容に行き詰まりが出てきた感がある。/内容が出尽くしたのであれば、例えば1号からの記事を掘り返して編集し直すというやり方で年4回発行するという可能性はどうか。(情報紙を)なくすのは残念。/以前からネタ切れや発行回数についての議論はあった。1号からの内容を掘り返しながらも続けようということになっている。今回も発行する方向で進み始めているので、できたらこの議論はやめにして今日は前に進んでいただきたい。短い時間の中で編集作業が滞るとますます行き詰っていくので、話を進めていきたい。/出掛けて行って新しい

情報を取り入れないと、同じことを取り上げても情報紙として面白くない。/情報紙の方向性の議論に戻るのなら今回の34号はご破算にしては。テーマが決まっている以上、発行に向けて動かないとどんどん押し寄せになりキツくなる。この話は先月挙がっていたら納得できるのだが。/一旦消すと再び戻すのは大変だからゆるやかでも続けて行ってはどうか。やっていることは無駄なことではない。/地域交流分科会委員に呼びかけて、編集段階から参加する人数を増やしてはどうか。/編集会議には休まず出席すべきだ。/発言しなくても参加して流れを知っていなくてはならない。/テーマ決めでも新しい発想が無いように感じた。/34号は発行を遅らせてはどうか。もしくは休刊にするか。を9月の分科会で話し合う。/事業と予算の計画を立てた時に、情報紙の発行は年4回と決めたのでそれに沿った方が良いのではないか。/33号発行している実績があるのにやめてしまうのは切ない。芸術という切り口は秋ではなくても、読者がその時期に合った芸術を考えるきっかけ作りになれば、10月発行に間に合わなくても良いと思う。/年間の事業計画から見直しをした方が良いのでは。今後に向けて検討する時間も必要だと思う。/編集に参加できる人数が少なくても進められるようなやり方でないと続けるのは難しいと思う。/読者はどういうものを読みたいかということのを常に考えながら作らないといけない。自己満足のために発行しているのではないと再認識してほしい。/情報紙を作るにあたってのコンセプトがない。地区協の中での当分科会の担っているもの、その中で情報紙の果たす役割を考えていない。情報紙を発行するにあたっての計画性がない。数年先を見据えた長期、中期、短期の目標がないので毎回テーマに悩むことになっていく。続けていく過程ではより良いものにするために改善点も調査、検討していくべきだがこれまで行われてない。今回発行を延期する、休刊にする、情報紙を見直す、といったことも委員から出てきた意見なので、この件に時間を割き検討しても良いタイミングだと思う。/ボランティアであっても何かを作るといふ作業はお金をもらってやるのと同じように関わらないとやっていけないと思う。/今回は、情報紙の今後について分科会で議論を続けながら、34号は発行延期となっても編集を進める。/発行は10月1日を目指して頑張りたい。遅れても10日くらいまでには発行できるよう作業を進めたい。現時点では定例会とは別日に編集会議を設けなければならない状況なので、協力してほしい。

[まとめ]

- ◆ 34号は発行日が遅れても発行する。
- ◆ 分科会において情報紙の今後のやり方について話し合う。

34号の編集を進めました。

① 記事内容

地域内の美術館、博物館、アートスペースなどを紹介する。紹介した館とタイアップして、34号を持参した方への料金割引や特典など協力依頼してみる、という案が出ました。内容のイメージとしては、身近な芸術として音楽、美術、映画、演劇等を紹介します。

- ② 担当割り振り
次回持越し。
- ③ タイトル・サブタイトル
委員から案がでました。多数決で決めました。
- ④ レイアウト
次回持越し。

[決まったこと]

- ① 記事内容
 - ◆ 紹介する施設
損保ジャパン東郷青児美術館・文化学園服飾博物館・I C C・オペラシ
ティアートギャラリー・新国立劇場情報センター・新宿アイランドタワ
ー「LOVE」のオブジェ・芸能花伝舎・新宿パークタワー
 - ◆ イベント参加
「しんじゅく芸術まち歩きツアー」に参加して記事にする。
新宿クリエイターズフェスタの写真を撮ってくる。
- ③ タイトル・サブタイトル
 - ◆ タイトル
「わが街芸術まち歩き」
 - ◆ サブタイトル
「わいわい」を持って街へ出かけよう
- ⑤ その他
 - ◆ 記事の文字数は150字
 - ◆ 記事の担当者、4面やコラムなど決まらなかったことについては9月の
分科会で決める。(発行は遅れます)

5 次回会議日程

- 日 時 : 9 月 3 日 (水) 10 時 ~ 12 時
会 場 : 角筈特別出張所2階会議室
議 題 : 1. 秋を探そう中央公園について
2. 料理教室について
3. 情報紙の今後について
4. 情報紙34号について